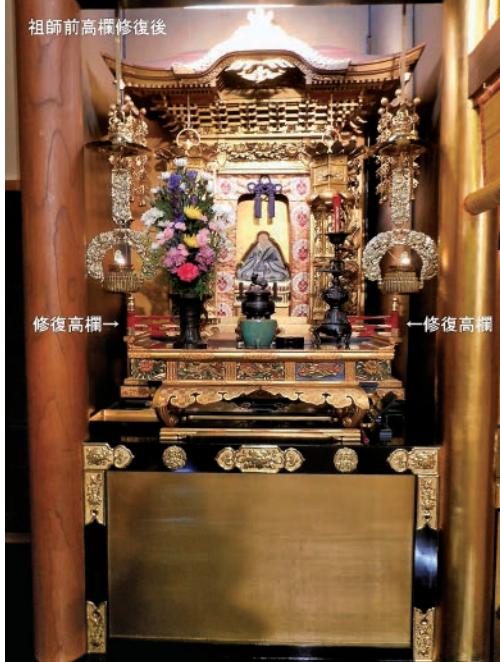


第三期本堂莊嚴工事完了!

～ 永代経懇志により行われました～



中尊（御本尊）前高欄・金灯籠修復後

祖師（聖人）前高欄修復後



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会い(あい)いの時間

▼学校や家庭での子どもの遊びの中で、かつては「ナンマンダブツ」が多くたが、この頃は「ナンミョウホウレンゲキヨウ」の声が多く聞こえると言う。▼これは家庭での朝晩の勤行（ごんぎょう）のせいであると思う。▼勤行とは字のごとく毎日欠かさず勤めて行うことから発せられた言葉であり経本にも「日常勤行聖典」とある。▼昔は親が子どもと共に仏壇に向かって正信偈や時間の都合で讃仏偈を拝読することが浄土真宗の家庭の宗風がありました。▼正信偈が朝晩の勤行に用いられるようになったのは、お仏壇の左側にご安置してある蓮如上人様の時代からで、親から子へ子から孫へとつながってきた伝統で子供たちは自然にお念仏の声を耳から心に受け止めていったものです。▼正信偈は親鸞聖人がお念仏・信仰の喜びを詠われた偈（漢詩）を毎日読誦することによりお念仏の教え、帰命無量壽如來南無不可思議光といたいでいったのです。今はその伝統がいわゆる新興宗教と言われる在家教団に引き継がれているのです。▼見えやすさでは般若心経は一番のようですが、般若心経は自らの力によつて煩惱を断ち切ろうと教えるのに対し、「正信偈」は阿弥陀如来の救いに一切の計らいを捨ててお任せをする救いの喜びが説かれたもので、それは阿弥陀如来の力の否定になり浄土真宗では拝讀いたしません。▼

釋
玄
真

ご寺院行事案内

- 3月20日(月) 春彼岸法要 前10:00
講師 長井順一先生(新潟県)
- 6月11日(日) 第6回早朝公開講座 前7:00
講師 佐伯晋先生(大阪府)
- 7月8日(土) 第34回ファミリー参拝 後6:00
(キッズサンガ)

ご定例法話内会

- 4月20日(木) 講師 雲林重正先生(新潟県)
- 5月20日(土) 講師 八幡徹信先生(岐阜県)
- 6月20日(火) 講師 結城道哉先生(愛知県)
- 7月20日(木) 講師 青木哲静先生(富山県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

寺院保守・宮繕工事を実施します!

敬念寺中長期ビジョン構築の中で検討されてきた、寺院保守宮繕として本堂・会館・庫裏の改修工事が今春実施されます。(施工業者は山岸建設株式会社)

工事期間中、足場の設置などでご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力を願っています。

☆工期 四月一日～五月三十一日

工事概要

☆外部足場工事
☆本堂外部改修工事、庫裏外部改修工事
☆会館内部改修工事

外部塗装・防水工事

飾り金物改修工事

階段室内部足場工事

壁聚楽塗替え(一～二階)
天井クロス張替え(〃)

塗装工事(壁羽目板、階段)

☆工事費 一千五百万円

工事費は、今年度発足した「護寺基本金会計」から支出します。

(皆様から特別なご負担をお願いすることはありません。)

この会計は、前々号三頁で説明させていただきましたが、従前の「營繕積立金」及び「基本金」

に、新設した「護寺協力金」を合わせたもので、大規模宮繕費用、寺院・門信徒会の重要な催事費用、大型法要における費用負担等に充てられます。なお、この工事の実施については、昨年の門信徒会年次総会に提案し承認されています。

今年度の門信徒会費納入と、新設された「護寺協力金」への懇意協力につきましては、皆様にそれぞれご配慮いただきまして、誠にありがとうございました。前号六頁において具体的な数字等について後日お知らせすることとしておりましたので、ここにご報告申し上げます。財務基盤強化の一環として今年度新設した「護寺協力金」ですが、お世話人を通じ門信徒会費徴収に併せお願いしたところ、多くの皆様にその趣旨をご理解いただき、お陰様で約五百人の方々に六十万円余の尊い净財をお寄せいただきました。

この净財は全額「護寺基本金会計」に積み立てて、大規模宮繕・大型法要費用等に備えてまいります。このたびの寺院保守宮繕工事費用と本山伝灯奉告法要門徒懇志金もこの会計から支出いたします。一般会計では予算化が難しい護持費用の運用対応と、財務基盤強化に大きく貢献する「護寺協力金」に、引き続き格別なご理解とご協力を願い申し上げ、ご報告いたします。

門信徒会会長 千原博幸
財務委員長 谷腰富春



(工事契約を締結 28.12.5)

―敬念寺中・長期ビジョンの検討状況―

今年度も常任委員会で検討を進めしており、「財務体質健全化」と「中期宮繕計画」については具体化されたところです。「教化事業」と「門信徒の悩み・要望対応」についても、具体的な方策等を引き続き検討していますので、順次お知らせしてまいります。

一門信徒投稿ひろば

亡き伯母の恩に感謝

高山村 湯本 順子

平成二十九年二月十七日に故大下弘美さんの葬儀に際し弔辞を送らせていただきました。

私は生後二ヶ月で母を病気で亡くし、母の実家である大下家で五歳まで育てていただきました。そこで、大下弘美さん・実母の兄の妻である伯母に我が子のように、たくさんの愛情をもらい育ててもらいました。

今は結婚し、北信の高山村に在住しています。結婚してからも、伯母にいろいろなことを相談し、伯母は温厚で人を受けとめ大きな安心感を与えてくれる不思議な魅力がありました。いつか恩返しをしたいと思っているうちに亡くなられてしまい、涙がこみ上げてきてどうしようもなく、弔辞をきちんとと言えたかわかりません。葬儀にあたり、ご住職様からお言葉をいただき、現世では亡くなられたけれど、阿弥陀様のもとに生まれかわり、これからは阿弥陀様に抱かれて過ごすのだと教わったが、気持ちを落ち着かすことが出

きました。また、初七日の法要の最後に、「み仏にいだかれて」の歌を聴き、葬儀での歌は初めてでしたがとても心に残りました。伯母の葬儀を終え、これからは伯母に教わったこと、教わった心を子ども達に伝えていきたいと強く思いました。



母の一周年忌法要を済ませて

岡谷市 榎尾 誠

過日、母の一周年忌法要を無事に済ますことが出来ました。この一年は阿弥陀様に手を合わせながら母のことを思い出し、感謝をする日々でした。

母は生まれつき身体が弱く幼少の時の発熱が原因で耳に障害がありました。いわゆる「ろうあ者」です。ほぼ聴力はなく、その影響もあり聴者と同様のレベルでしゃべることもできませんでした。

しかし母の家族の愛情や支援、早期からのろう学校での教育もあり、障害を持ちながらも一人の女性として社会に巣立つことができました。

そのような中で同じろうあ者であつた父と出会い、世帯を持ち私が弟の二人の母となりました。今までこそ障害を持つた方への理解が進み制度的にも充実してきました。また、初七日の法要の最後に、「み仏にいだかれて」の歌を聴き、葬儀での歌は初めてでした。伯母の葬儀を終え、これからは伯母に教わったこと、教わった心を子ども達に伝えていきたいと強く思いました。

私は子供心に友人の家庭との違いを感じることはありました。自分が生きていた日々を送っていました。私は阿弥陀様に見守っていただきながら毎日、母の「合掌」を欠かさず努めていきたいと思っていました。これからも日々の「合掌」を欠かさず努めていきたいと思つて

立たれ、心情的にも辛く心細かったです。ほんとうに手を合はせながら母のことを思い出し、感謝をする日々でした。

平成二年に不慮の事故で父に先立たれ、心細かに母のことを想ひますが、当時まだ学生だった私たち兄弟を父親に代わり、時に厳しく時にあたたかく見守つ慢の母でした。

その後、私も弟も共に世帯を持ち、まだこれからと思っていた矢先に残念ながら病に倒れました。最期の時までの短い間ではあります。母と豊かな時間を過ごすことができ、その中で多くのことを学ばせてもらいました。

母が亡くなつてからは心配や苦勞ばかりかけてしまったこと、もつと何か出来たのではないかとつた想いから悲しさ、寂しさ、後悔、迷いといったネガティブな感情を抱き無力感に陥ってしまうこともあります。

予告 第6回 敬念寺早朝公開講座

今年も早朝公開講座を下記のように開催いたします。

講演の要旨：我が国の平均寿命は男性80.5歳（世界第6位）、女性86.8歳（世界第1位）と共に世界最長寿国に仲間入りしています。しかし、幸福度も世界レベルか？と問われると答えに窮してしまいます。長寿の要因や幸福度を測る物差し、世界的視野に立って“健康”と“幸せ”を両立させる方法を考えてみたいと思います。

時・所 6月11日(日) 敬念寺本堂
前7:00～8:30

講 師 佐伯 晋先生（大阪文学協会理事・医学博士）
講 題 「世界最長寿の国で幸せに生きるために」



(光輝く本堂28.11.13報恩講)

昨年秋報恩講前に本堂荘厳・第三期事業が完了いたしました。
前号四頁掲載のとおり「永代経懇志」により実施させていた、だきましたので、ご報告方々御礼申し上げます。

○中尊（御本尊）前高欄完全修復
○中尊（〃）前金灯籠完全修復
○祖師（聖人）前高欄完全修復
【面に写真掲載しました】
同時に「内陣漆塗り床補修」と「全面磨き上げ」も行われた本堂

—永代経懇志による 本堂荘嚴事業完了—

シリーズ
住職さんといっしょ！

No.9



(斎藤定夫氏のお孫さん：妻の四十九日法要にて29.2.19)

No.10



(千原博幸氏母23回忌にて：孫上野七海ちゃん29.3.4)

門信徒会年次総会

—4月29日(土)午後6時から開催—

総会は地区世話人等の代議員制です。地区世話人を通じてご意見をお寄せ下さい。

日 時：平成29年4月29日(土)
午後6時開会

場 所：敬念寺本堂

議 題

1. 平成28年度事業・会計報告
2. 平成29年度事業・予算案承認の件
3. その他

本山「伝灯奉告法要」 敬念寺団体参拝のご案内

「第25代専如ご門主伝灯奉告法要」への敬念寺団体参拝は、次の日程で行われます。
このたびのご勝縁で本山に参拝できる又とない機会です。ご一緒に参加しませんか！
参拝ご希望の方はお寺まで申し込んでください。なお、定員になり次第締め切ります。

期 日：平成29年 4月14日(金)～16日(日) 2泊3日 **参加費**：57,000円

1日目：敬念寺発7：00～伝灯奉告法要・つどい13：45～15：30 泊：聞法会館

2日目：ご晨朝参拝6：00～笠松公園（天の橋立股のぞき名勝地）～天橋立観光船～城崎マリンワールド（イルカショー）～城崎温泉 泊：ホテル金波楼

【雄大な日本海を眺めながら2万年前の地層から湧き出る温泉で心も体もリフレッシュ】

3日目：海産物お買い物～東井義雄記念館～東光寺～彦根城～敬念寺着20：30